



もみじ

第3号

【ホームページ】 <http://akihaku-dai1.city-niigata.ed.jp>



～ブルーベリーの花～

幼小連携の一環として～

延期が続いた新津第一小学校（以下、一小）の運動会が26日（火）に開催されました。当日はお休みの子どもが数人いましたが、みんなで作ったこいのぼりに見守られながら、楽しんで参加しました。保護者の皆様も暑い中、応援ありがとうございました。

5月の連休が明けると、一小の運動会への参加準備が始まります。参加準備とは練習のことではありません。子どもたちがいつもと変わらず、遊びながらいつの間にか小学校の運動会を楽しみにするための下準備のことです。子どもたちは、小学校のグラウンドや一小山に場を移しながら遊びます。時々、小学校の運動会練習を目にしながら、小学校の運動会に「自分たちも出るんだ！」という気持ちが膨らむように過ごしてきました。

今年は、幼稚園に2年生有志の子どもたちが、♪チェッコリ玉入れ♪のリズムダンスを教えにきてくれました。子どもたちは大喜びで、2年生と一緒にキレッキレに踊りを楽しみました。当日の「チェッコリ玉入れ」では、元気いっぱいダンスを踊り、1年生に混ざって玉入れをがんばりました。

当日は、幼稚園の子どもたちも小学校の応援合戦に加わりました。応援団の小学生が園児席まで迎えにきてくれて、定位置まで連れていってくれました。応援団の子どもたちもぶっつけ本番だったのです。園の先生の指示を聞いて、臨機応変に動ける小学生！頼りになります。応援席に戻るときには、小学生が「手をつないで（応援席まで）戻ろうね。」と声をかけてくれているのが聞こえてきました。応援席に戻るまで、小学生と手をつないで待っている素敵な光景が見られました。

また、徒競走にも参加しました。年少10メートル、年中20メートル、年長30メートルを腕を振って最後まで走り抜きました。1年生は50メートルを走ります。走る姿も学年を追うごとに変わっていきます。低学年徒競走の後、2年生の子どもが話しかけてきてくれました。「私、（新津第一）幼稚園に行ったことがあるよ。幼稚園の子が応援してくれて、私がんばったよ。」と徒競走で一生懸命に走ったことを話してくれました。そして、幼稚園の子どもたちの応援を受けとめてくれていることも、うれしいことでした。幼小連携というと、行事を一緒にやるだけに留まりがちですが、しっかりと気持ちが伝わっていることに、日頃から交流をしている一小と一幼だからこそその姿と、手応えを感じました。

運動会が延期になった24日（日）には、一小山へSLを見に行きました。小学生も看板をもってきていました。この地域ならではの光景です。一小の運動会への参加は、幼小連携の貴重な場であり、園の子どもにとっても小学生にとっても地域に誇りをもち、愛着を育んでいく大切な行事です。



2年生からリズムダンスのレッスン



応援団と一緒に入場



応援のダンスを披露！



チェッコリ玉入れ、ノリノリです！



玉入れ、かごをめがけて「それ～」